

札幌の歴史 あれこれ No.08

今や196万人以上が暮らす街へと発展した札幌。ここでは、これまでの札幌の歩みを、さまざまな角度から見ていきます。

問い合わせ 広報課 ☎(11)2036

【スポーツと競技場の歴史から振り返る札幌】

1921

中島公園の池が水泳大会の会場に

明治期から広場で学校の運動会が開かれるなど、多様なスポーツを楽しむ場として利用されていた中島公園。1921(大正10)年には池にスタート台とターニング台を設置し、全道中等学校水泳競技大会が開催された。

▶1930(昭和5)年撮影。冬は天然のスケートリンクに



札幌市公文書館所蔵

1932

琴似村に大倉シャンツェがオープン



札幌市公文書館所蔵

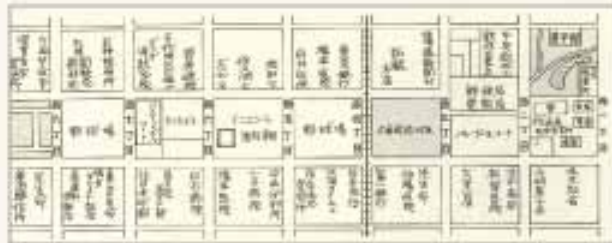
来道した秩父宮さまが、スキー振興と世界的なジャンプ台建設を提案。このことをきっかけに、大倉喜七郎氏から寄贈された大倉シャンツェ(現在の大倉山ジャンプ競技場)が琴似村(現在の中央区宮の森)に開場した。

◀1933(昭和8)年撮影。記録が次々に更新される日本ジャンプ競技の中心地になった

1946

大通公園が市民の運動場に

戦時中は食糧難に備えて畑となった大通公園。戦後には市民用の野球場やテニスコートなどが設けられた。その後、徐々に芝生や花壇がつくられ、再び公園として整備された。



◀1950(昭和25)年ごろの大通界わい(出典:さっぽろ文庫32「大通公園」)

1972

オリンピックを契機に 世界的な冬のスポーツ都市へ

2月3日から13日まで、札幌冬季オリンピックが開催され、スキーやスケートなど6競技35種目が実施された。迎えた選手団は35カ国約1,700人で、ボランティアなどに多くの市民が協力。競技施設が新たに建設され、その後も国際大会や市民のスポーツ活動に利用されている。

▶開会式が行われた真駒内スピードスケート競技場(現在の真駒内屋外競技場)



出典:公式報告書

2002

新築された札幌ドームで FIFAワールドカップ™を開催

2002FIFAワールドカップ™の会場の一つが札幌に決定。札幌ドームでは、アルゼンチン対イングランドの一戦など、世界のサッカーファンが注目する試合を開催した。現在、全天候型のドームは年間を通じてプロスポーツや大規模なコンサートに利用されており、人々に活力や潤いを与えている。

▶2000(平成12)年撮影。建設中の札幌ドーム

